

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	みどり課長	永井 淳一
まち-11 緑化啓発事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	みどり課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針
			緑の保全等

1 事業の目的

対象	市民等
意図	緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。
効果	緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託し、緑化啓発に努めた。 ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ			人口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
人口	177,464人	177,243人	世帯数	80,928世帯	
世帯数	80,368世帯	80,676世帯	事業の対象者数		
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況			当初予算(千円)	7,243	
決算値(千円)	4,616	4,740	国県支出金		
国県支出金			地方債		
地方債			その他		
その他			一般財源	7,243	
一般財源	4,616	4,740	人員配置数	1.4	
人員配置数	1.4	1.4	人件費(千円)	10,878	
人件費(千円)	10,533	10,629	総事業費(千円)	18,121	
総事業費(千円)	15,149	15,369	市民1人当りの経費(円)	102	
市民1人当りの経費(円)	85	87	対象者1人当りの経費(円)		
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入
		△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー NPO法人 鎌倉みどりのレンジャー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・例年変わらないニーズがあり、緑の学校等の運営を継続する必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・緑の基本計画実現に向けて、多くの市民に緑化啓発を実施することが重要である。また、これまで緑化啓発事業の委託化を図ってきた経緯を踏まえれば、事業費の削減はできない。また、類似する事業はなく、他の事業と統合できない。 ・緑の学校や緑のレンジャー等の講座に多くの市民が参加、またまち並みのみどりの奨励事業(接道部緑化への補助)等について、例年変わらぬニーズがあることから、これら事業の廃止や休止は市民ニーズへの影響が大きいと考える。 ・緑の知識の普及等の緑化啓発、市民の緑化活動への支援は行政が主体的に取り組むべきものであり、実施主体は市であるべきと考える。 ・緑の基本計画に基づき、緑化推進団体等の育成と連携を図るため、これらの事業は上位施策に貢献しているものとする。 ・緑の知識の普及等の緑化啓発、市民の緑化活動への支援は行政が主体的に取り組む、全額を市が負担すべきものとする。 ・NPO法人鎌倉みどりのレンジャーと協働して、一部事業の実施に取り組んでいる。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・これまでの啓発事業の役割や成果を踏まえて、事業の充実と周知を図り、市民や企業等とともに緑に関する活動ができる仕組みづくりを継続する。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	・受託者と適切に連携し、緑の学校や緑のレンジャー等の講座に多くの市民の参加を得ながら、円滑な運営に努めた。	☒ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・これまでの啓発事業の役割や成果を踏まえて、事業の充実と周知を図り、市民や企業等とともに緑に関する活動ができる仕組みづくりを継続する。 ・全国都市緑化よこはまフェアに自治体出展花壇を出展し、緑化啓発に努める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	緑の学校の受講者数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
緑化啓発のため	目標値	50	50	50	50	50		50		
	実績値	42	47							
	達成率	84.0%	94.0%							
指標の内容	緑のレンジャー(ジュニア)の受講者数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
緑化啓発のため	目標値	30	30	30	30	30		30		
	実績値	37	45							
	達成率	123.3%	150.0%							
指標の内容	緑のレンジャー(シニア)の受講者数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
緑化啓発のため	目標値	30	30	30	30	30		30		
	実績値	21	22							
	達成率	70.0%	73.3%							
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--